

## ちば山の会創立50周年記念列島横断山行

報告者 広木 愛子

- 1、コース 北アルプス 焼岳～奥穂高岳縦走
- 2、日程 7月15日～19日
  - ・1日目 新宿(11:05)～平湯(15:56)～中の湯バス停(16:15)～中の湯温泉旅館泊(16:56)
  - ・2日目 中の湯温泉(4:30)～中の湯新道登山口(5:00)～焼岳(8:00)～焼岳小屋(10:00)～西穂山荘泊(15:00)
  - ・3日目 西穂山荘停滞泊
  - ・4日目 西穂山荘(4:30)～独標(5:40)～西穂岳(7:30)～天狗の頭(11:30)～ジャンダルム(1:30)～ロバの耳(2:30)～奥穂岳(3:30)～穂高山荘(泊)(4:30)
  - ・5日目 奥穂山荘(5:00)～涸沢(9:00)～横尾(11:00)～徳沢(12:00)～上高地(15:00)～バス新宿

創立50周年記念山行・焼岳から北穂高に申し込むも、体力不足との事で、一緒に行動するのは無理という事で、4名が別行動になった。しかし、4名で話しあったが、考え方もかみ合わず、3名は中止、結果的に私一人の単独行動という事となった。

1日目：危険を回避するため、中の湯に前泊し万全を期して山行に挑みました。

2日目：今回は2度目で、前はテント泊だった。靴も新調し足は軽い。しかし、焼岳を下りた所で、足首を軽くひねってしまったが、少し休んだら痛みが無くなった。意外と足首が強い？のかと気が楽になり、慎重に行動しようと気を引き締めた。

この付近で、主力メンバー5名と会った、大正池辺りの眺めがなかなか良かった。天気も良く、15時位につけばと楽しく一人歩く。

3日目：4時出発予定で準備して外に出たが天候を考え、一人で奥穂まで行くのは危険と判断し、中止して下山する事とする。朝食のお弁当を食堂で食べていると、小屋のオーナーが見えて、「明日、明後日は、天気良いよ。」と天気予報を出してくれた。雨の中を下山するよりも、停滞して明日にかけるとも良いかとも思い、家に電話して相談する。OK!!をもらい、予備日を使って行動する事にした。

4日目：4時30分・西穂山荘を出発。岩が大変にきつい、きつい。このコースは、トレーニングで雪の中をアイゼンで登るときは、割と楽であった。今回は、高低差が特にきつく感じる。年のせいもあるのだろうか？

独標についてきたとき、救助ヘリが飛んで来た。昨日、ガイドの方が滑落したとのこと。家に電話し、本隊は無事に先に進んでいること知る。あの悪い天気の中をよく頑張ったと思います。でもなるべく危険は、避けた方がよいのかな等と思いながら、私は、一人なので一点、一点じっくりと危険を回避しながら進みました。東習志野体育館でクライミングの練習を毎週しておいて、良かったと思いました。きっと、本隊の人達もクライミング楽しんでるいから強いのではないかと思う。思っていた以上に、安心して、楽しみながら進むことが出来ました。

天狗のコルまで行く人達は、どんどん先に行ってしまったようで、やっと一人に会うことが出来た。この方とは、ジャンダルムまで一緒に行動出来たので心強かったです。

ジャンダルムは、2回登っているのでパスをした、ここからはまた一人になったし、足の長さがちょっと足りない所があったりもして、疲れがたまってきたのでより慎重に歩きました。ロバの耳は、周りの景色を眺めながら楽しかったです。奥穂山頂についた時に、小屋からの来た宿泊者の方に、少し到着が遅れる事を伝えていただきました。これで、ユックリ降りられる、足をかばいながら慎重に行動しました。

5日目：素晴らしい日の出を迎えました。奥穂～北穂は、雪山の時の方が多いですが10回位は通っていると思うので省略することにし、素晴らしい景色の中をのんびりと涸沢へ下りました。創立50周年記念山行だったが、単独行だったので記念横断幕を入れた記念写真を残せなかった事がとても残念でした。

過去の山行での、悲しい思い出を心に沈めて、涸沢到着。

上高地に着くと、すぐに新宿行きのバスに乗ることが出来、無事に家に着きました。



7月16日 8:00 焼岳



7月18日6:40 ピラミットピーク



7月18日 7:40 西穂高岳



7月19日7:40 前穂高吊り尾根